

【緑地の樹】

クマシデ

プロフィール： カバノキ科 クマシデ属の落葉高木

花広場奥の山斜面にひっそりと立っているので、長い間その存在に気づきませんでした。花は風媒花、実も風に飛ぶ種なので地味な木なのです。

実も葉も他のシデ類よりも大きいので、クマさんになったのでしょうか。仲間のイヌシデは緑地にもいっぱい生えていますが、葉っぱの葉脈がイヌシデの12本程度に対してクマシデでは20本以上あります。

地味だけど、私はそのふんわりした実が大好きです。他のシデ類と比べて、ふっくらしています。いかにも種をゆったりと守っているやさしいお母さんのようなのです。

クマのお母さん…今年も元気な種を飛ばしてくれるでしょうか。
(小川)

葉脈が目立ちます



実は正月飾りにつける四手のようです。